

Yahaba Town Guide Book

矢巾町 町勢要覧



県道不動盛岡線のマリーゴールド



矢巾町

ごあいさつ ～ みんなで築く 躍動感あふれ 幸せな
未来へ進化するまち やはば ～



令和6年度は、第8次矢巾町総合計画・前期計画がスタートし「みんなで築く 躍動感あふれ 幸せな未来へ進化するまち やはば」を基本理念として、町民の皆さまと手を取り合い、歩んでまいります。

本計画では、目指すまちの将来像として「新たな活力と変革を実感できるまち」「ありがとうが行き交う幸せなまち」「豊かな環境を未来へつなぐまち」の3つを掲げています。さらなる本町の発展と課題解決に向けた取組を推進し、これらの「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。

むすびに、この町勢要覧が、皆さまにとって矢巾町の取組みをご理解いただく一助になれば幸いです。

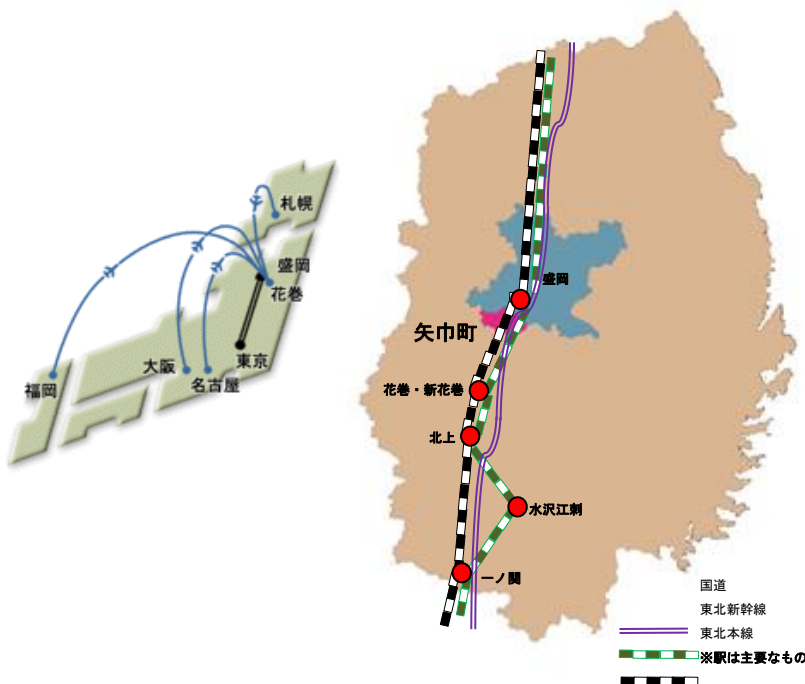
矢巾町長 高橋 昌 造

矢巾町の位置・プロフィール

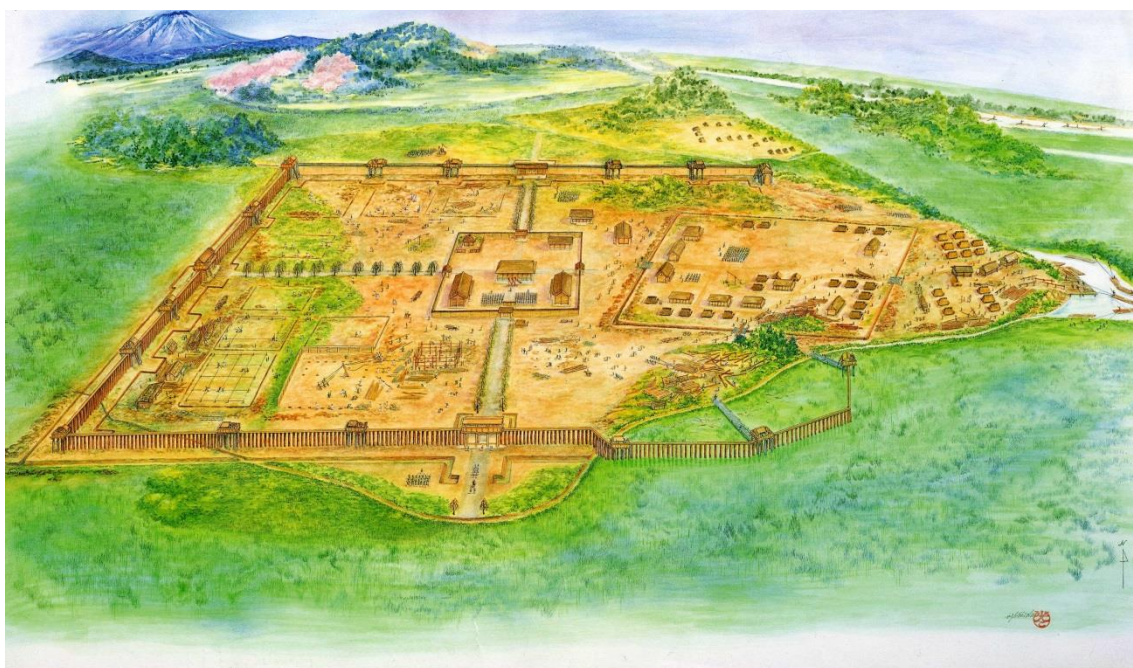


岩手県矢巾町は、県内のほぼ中央に位置し、県庁所在地である盛岡市の南に隣接する田園都市です。東に母なる北上川が流れ、西に町のシンボルである南昌山をはじめとする奥羽山脈の山並みが連なり、田園地帯が広がる自然豊かな環境に加え、東北本線や東北新幹線そして東北縦貫自動車道や国道4号など交通においても恵まれた町です。

交通アクセス



高速道路	
青森中央 IC-矢巾 SIC	2時間10分
仙台宮城 IC-矢巾 SIC	1時間55分
浦和 IC-矢巾 SIC	5時間25分
矢巾 SIC-矢巾町役場	10分
飛行機	
札幌(新千歳)-花巻	55分
名古屋(小牧)-花巻	1時間10分
福岡-花巻	1時間55分
大阪(伊丹)-花巻	1時間20分
花巻-矢巾町役場	40分(車)
東北新幹線・東北本線	
東京駅-盛岡駅	2時間30分
仙台駅-盛岡駅	50分
盛岡駅-矢幅駅	15分
矢幅駅-矢巾町役場	5分(車)



国指定史跡徳丹城造営風景想像図

目 次

町長あいさつ、位置・プロフィール	1
矢巾の四季 ー春ー	3
矢巾の四季 ー夏ー	4
矢巾の四季 ー秋ー	5
矢巾の四季 ー冬ー	6
矢巾町の美味しい農産物	7
矢巾町の美味しい特産品	8
第8次矢巾町総合計画	9
矢巾町的主要施設	13
矢巾町のあゆみ	15
行政・議会	18
町民憲章、町章、町の花鳥木	20



南部盛岡チャグチャグ馬コパレード (4月下旬)

Four Seasons of Yahaba

矢巾の四季

Spring

春



南昌山山開き (5月下旬～6月上旬)



矢巾町徳丹城春まつり (4月下旬)



矢巾町のシンボル「南昌山」は標高 848m、昔から「青龍大権現がすむ山」として山頂に雨乞い信仰の獅子頭が奉納されています。

家族向けのハイキングコース、上級者向けの前倉コースなど自然とふれあう憩いの場としても親しまれています。

また、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の舞台とも言われています。

詩人・宮沢賢治がたびたび訪れていたと言われる『南昌山』。麓には煙山ひまわりパークが広がります（約 40 万本のひまわりの見頃は毎年 8 月中旬）

夏

矢巾の四季

Summer

Four Seasons of Yahaba



矢巾町の花鳥木である「ゆり」。

以前は町内のいたるところに自生していたゆりですが、現在は数が減少しているため保全活動を行っています。7 月中旬に森山パストラルパークや城内山で眺めることができます。

矢巾町夏まつり（7 月下旬）

町内の小中高校、社会人などの音楽団体が出演するステージイベントで盛大に盛り上がります。令和 6 年度は 5 年ぶりに復活する「さんさ輪踊り大会」も見どころです。





南昌トンネル付近の紅葉



秋まつり
一歳児一升餅歩行大会

Four Seasons of Yahaba

矢巾の四季

Autumn

秋



矢巾町ロードレース大会

(10月上旬)

矢巾町ロードレース大会は、町内外から招待選手を含む多くの選手が参加します。小さいお子様からご年配の方まで幅広い参加者が、田園ロードを駆け抜けます。

矢巾町長杯中学校ハンドボール大会

(11月中旬)

町内で小学校から社会人まで盛んに行われているハンドボール。全国大会常連校である矢巾中学校、矢巾北中学校がこの大会で、県外の強豪校としてのぎを削ります。





スミつけ祭り（2月第1土曜日）

四百数十年前から受け継がれている奇祭。境内に積み上げられた杉枝の大山の中に観音様を掘り込んだ木柱を入れて燃やし、消し炭をお互いの手や顔へとこすりあう。別名 歳袴焚き（せあどたき）と呼ばれ、スミをつけられた人は災難消除や無病息災が叶うと言われています。



冬

Four Seasons of Yahaba

矢巾の四季

Winter



矢巾町消防団出初め式
（毎年1月）

矢巾町交通指導隊初点検
（毎年1月）



矢巾町の 美味しい農産物

りんご

りんごの生産地として、主にフジやジョナゴールドなどが栽培されています。矢巾の太陽の光をたくさん浴びて育った美味しいりんごをお召し上がりください。



米

町内では、銀河のしずくやひとめぼれ、ヒメノモチなどが栽培されています。古くから良質米の産地として名を馳せてきた当町のお米をお召し上がりください。



ズッキーニ

夏が旬のズッキーニは、さまざまな料理の食材として重宝されております。抗酸化作用のあるカロテンやビタミンC、高血圧予防にも効果があると期待されるカリウムも豊富です。



しいたけ

矢巾町のしいたけは、原木・菌床ともに生産が盛んです。肉厚でうまみがたっぷりのしいたけは食べ応え抜群です。



山ぶどう

ポリフェノール等が含まれる山ぶどうは疲労回復、貧血予防などに効果があると言われています。



徳丹城

町産「徳田米」は質の良い米として有名。その地で育った酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。料理を引き立てる上品ですっきりとした味わいに仕上がっています。

「徳丹城」は、今から約 1200 年前の平安時代初期、征夷大將軍文屋綿麻呂が築いた律令国家最後の城柵です。



やはばおでん

やはばおでんは、こだわりの国産素材を使用し、保存料を使用しておりません。また、天然だしを使用し、かつおと昆布の風味が効いた優しい味わいです。

イチ押し of 具材は油揚げに豚・鶏ひき肉・生姜を詰め入れ、矢巾町の特産品の原木椎茸を丸ごと使用した『やはばくだん』。レトルトパックはお土産にもおすすめ。ご家庭でやはばおでんを楽しめます。



矢巾町の 美味しい特産品

山ぶどう商品

南昌山の麓で丹精込めて育てた野生種の山ぶどうを丸ごと使用。原液は濃厚で甘酸っぱい味わい。ストレートで飲むほか、薄めて砂糖やはちみつ、牛乳を加えても美味しいです。ジャムとジュースの商品を製造販売しています。



南昌山

町産酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。口当たりが柔らかく、甘さが特徴の日本酒です。冷やして飲むのがおすすめ。

ラベルのデザインは「銀河鉄道 999」の作者である漫画家松本零士氏によるもので南昌山と町のシンボルであるひまわりを描いています。



第8次矢巾町総合計画

基本理念

(令和6年～令和13年度)

『みんなで築く 躍動感あふれ幸せな未来へ進化するまち やはば』

新たな活力と変革を実感できるまち

本町での未来に希望を抱く人々が集い、常に新しい風が生まれ続けることで、隅々まで活気にあふれるまちを目指します

「ありがとう」が行き交う幸せなまち

一人ひとりの町民が幸せを実感するとともに、地域の中で人々のやさしさや感謝の気持ちが循環し、本町に暮らす喜びを全ての世代が感じられるまちを目指します。

まちの将来像

豊かな環境を未来へつなぐまち

先人が力を合わせて築き上げ、現在まで受け継がれてきた本町の豊かな自然環境や、文化的環境の価値を大切に守り育て、将来世代に胸を張って継承することができるまちを目指します。

【まちづくりの方針（施策の大綱）】

施策の柱①「元気を発信し活力を呼び込むまちづくり」

本町の魅力や情報を積極的に発信し、新たな町民や熱意ある事業者を広く受け入れその活躍を促進することによって、町内全域の活性化や、活気が新たな活気を呼ぶ機運の醸成を目指します。

- 1 地域経済の好循環の構築
- 2 大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化
- 3 農業従事者と後継者の確保
- 4 農業経営近代化の推進
- 5 農福連携による雇用の促進
- 6 有害鳥獣被害対策の推進
- 7 農業者年金の加入促進
- 8 企業誘致のさらなる推進
- 9 中小企業振興の推進
- 10 産学官金連携による新事業の創出
- 11 次世代への勤労観・職業観の醸成並びに地域企業への就業促進
- 12 起業家の育成支援
- 13 西部地域の観光活性化
- 14 観光情報の発信強化
- 15 特産品の開発支援
- 16 移住促進と関係人口拡大
- 17 若者の参加促進



施策の柱②「誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり」

一人ひとりの幸福感の向上を図るとともに、身近な地域で町民同士が互いにつながり支え合いながら、全ての世代が生き生きと安心して暮らせる社会の実現を目指します。

- | | |
|--|---------------------|
| 1 SDGs の推進 | 25 地域協働による健康づくりの推進 |
| 2 地域コミュニティの在り方の見直し | 26 感染症予防の強化 |
| 3 新しいコミュニティへの支援 | 27 医療データ活用の推進 |
| 4 障がいの有無によらない地域共生社会の促進 | 28 認知症への理解と支援の促進 |
| 5 多様性と包摂性のある共生社会の実現 | 29 高齢者福祉の推進 |
| 6 平和維持への理解促進 | 30 子ども・子育て支援の充実 |
| 7 人権保護の徹底 | 31 児童虐待防止体制の充実 |
| 8 芸術・文化活動の推進の充実 | 32 自殺対策の推進 |
| 9 音楽のまちの推進 | 33 福祉を支える人材の育成 |
| 10 フリモント町との国際交流の推進 | 34 生活相談支援体制の充実 |
| 11 男女共同参画の推進 | 35 道路整備の推進 |
| 12 男性の育児・介護休暇取得の推進 | 36 河川の整備 |
| 13 スポーツのまちの推進 | 37 町営住宅の在り方の検討 |
| 14 競技スポーツの推進 | 38 空き家対策の推進 |
| 15 障がい者スポーツの推進 | 39 都市公園の整備の推進 |
| 16 個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、
持続可能な社会を担う人づくり | 40 コミュニティ公園の在り方の見直し |
| 17 学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かに
たくましく生きる人づくり | 41 公共交通の充実 |
| 18 青少年の健全育成 | 42 消防・救急体制の充実 |
| 19 多様な世代に向けた学習機会の充実 | 43 防災対策の充実 |
| 20 学習拠点のネットワーク化の推進 | 44 広域防災拠点整備の検討 |
| 21 図書センターの蔵書充実 | 45 地域における避難体制の構築 |
| 22 妊娠・出産・子育てが安心してできる環境づくり | 46 流域治水による防災推進 |
| 23 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 | 47 防犯対策の充実 |
| 24 生涯を通じた健康づくりの推進 | 48 防犯灯の設置箇所の適正化 |
| | 49 消費者被害の防止 |
| | 50 交通安全対策の充実 |



施策の柱③「豊かな環境を守り伝えるまちづくり」

南昌山をはじめとする西部の山々や町内に広がる田園風景などの豊かな自然環境と、地域の伝統行事、郷土芸能などが育まれてきた文化的環境を次世代を担う子どもたちや将来の世代に伝えるため、その保全と価値の向上を目指します。

- 1 脱炭素、カーボンニュートラルに向けた取り組み推進
- 2 農地と田園風景の保全
- 3 農地などの利用の最適化の推進
- 4 自然に親しむ機会の増加
- 5 生活環境の保全及び環境美化
- 6 ごみ処理広域化に向けたごみの減量化及び資源化の推進
- 7 歴史的資産の調査と情報発信の推進
- 8 国指定史跡徳丹城跡の魅力発信
- 9 伝統芸能の後継者育成支援



施策の柱④「まちの発展を支える持続可能な行財政運営」

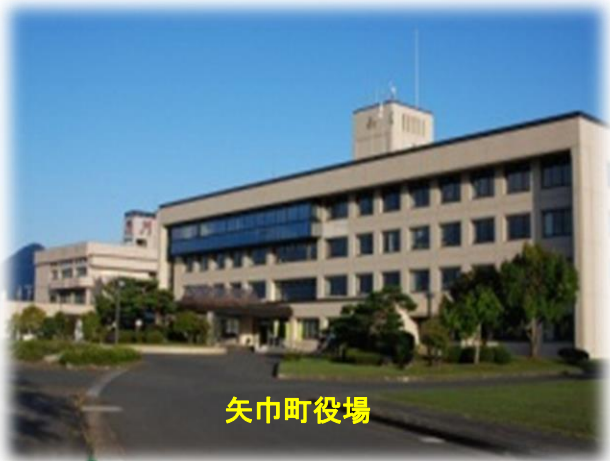
各施策を推進し町勢の着実な発展を図るため、将来にわたり安定した行財政運営を可能とする仕組みの確立を目指します。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 町の状況に即した土地利用計画の策定 2 適切な公共施設マネジメントの推進 3 公有財産利活用の促進 4 児童館の老朽化への対応 5 矢巾斎苑の在り方の検討 6 多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターの検討 7 スポーツ施設の整備検討 8 未来に強い行政経営の推進 9 住民と行政のパートナーシップの推進 | <ol style="list-style-type: none"> 10 持続可能で健全な財政運営 11 介護保険制度の適切な運営 12 健康保険制度の適正な運営 13 情報化社会の進化に対応した業務効率化と住民サービス向上（DX） 14 町内外に向けた情報発信の強化 15 広聴広報活動の効率化 16 上下水道事業運営の健全化 17 水道事業の有収率向上 18 水道管の耐震適合率の向上 19 下水道施設の計画的な更新の実施 |
|--|--|



矢巾町内の 主な施設





矢巾町役場



さわやかハウス
(保健福祉交流センター)



矢巾町民総合体育館



田園ホール
(矢巾町文化会館)



矢巾町歴史民俗資料館
(曲家)



徳丹城跡

矢巾町のあゆみ

●明治 22 年	徳田村、煙山村、不動村誕生	10 月 25 日	矢巾町民憲章を制定。町のシンボル花「ゆり」鳥「かっこう」木「まつ」
●明治 23 年	東北本線「盛岡～一関」間開通	●昭和 52 年	
●明治 31 年	矢幅駅開設	3 月 15 日	矢幅駅改築落成
●明治 38 年	東北地方大凶作	11 月 19 日	高速道「一関～盛岡」間開通
●明治 43 年	大洪水で北上川はんらん	●昭和 53 年	
●昭和 2 年	大干害（不動村の水稲 50%減収）	4 月 25 日	南昌グリーンハイツ落成
●昭和 22 年	カスリン台風襲来。北上川堤防が決壊し大洪水	11 月 5 日	町民総合体育館落成
●昭和 23 年	アイオン台風襲来	●昭和 54 年	
●昭和 29 年	三ヶ村合併促進協議会結成	3 月 29 日	紫波郡環境施設組合高速堆肥化処理施設落成
●昭和 30 年		●昭和 55 年	
3 月 1 日	徳田・煙山・不動の三ヶ村の合体合併により「矢巾村」が誕生	2 月 12 日	矢巾町消防団日本消防協会特別表彰受賞
	人 口：13,832 人	●昭和 56 年	
	世帯数：2,267 世帯	5 月 31 日	岩手県交通矢巾営業所業務開始
9 月 17 日	役場庁舎落成	10 月 19 日	岩手県森林組合盛岡木材流通センター完成
●昭和 31 年		●昭和 57 年	
10 月 1 日	徳田保育園開設	4 月 1 日	農業集落排水（室岡）供用開始
●昭和 32 年		6 月 23 日	東北新幹線開業
2 月 21 日	矢巾村消防団日本消防協会表彰受賞	●昭和 58 年	
5 月 4 日	全村に農事放送施設、有線放送完成	9 月 13 日	紫波地方広域農道開通式
9 月 15 日	村章、村民歌、矢巾音頭決まる	9 月 22 日	町歴史民俗資料館落成式
11 月 27 日	矢巾村消防団自治庁長官表彰受賞	●昭和 60 年	
●昭和 35 年		3 月 24 日	新庁舎開庁式及び一般公開
4 月 10 日	煙山保育園開設	4 月 1 日	北上川上流流域下水道（都南処理区）一部供用開始
8 月 22 日	矢巾村商工会発足	●昭和 61 年	
11 月 23 日	火葬場落成式	5 月 30 日	矢巾斎苑完成
11 月 28 日	徳田橋完成	●昭和 62 年	
●昭和 39 年		2 月 10 日	煙山児童館完成
9 月 24 日	東京オリンピック聖火、本村を通過	8 月 2 日	矢巾町農村環境改善センター完成
●昭和 40 年		●昭和 63 年	
10 月 1 日	東北本線「仙台～盛岡」間の複数電化完成	1 月 15 日	町屋内ゲートボール場完成
●昭和 41 年		3 月 23 日	徳田児童館完成
4 月 1 日	矢巾村営上水道給水開始（国道沿線と矢幅駅周辺）	4 月 1 日	新町公民館開館
5 月 1 日	町制施行「矢巾町」となる	4 月 10 日	県立不来方高等学校開校
7 月 16 日	町公民館落成	5 月 2 日	徳田、煙山、不動の三農協が合併により矢巾町農業協同組合発足
10 月 14 日	矢巾町観光協会設立	8 月 5 日	矢巾中学校グラウンドに夜間照明施設完成
●昭和 43 年		12 月 3 日	ふるさと矢巾会設立（関東方面在住者の会）
4 月 1 日	町立母子健康センター完成	●平成 2 年	
9 月 26 日	矢巾観光開発（株）が矢巾温泉開発に成功	7 月 1 日	マレットゴルフ場完成
9 月	煙山ダム完成	11 月 3 日	町公民館落成・町文化会館（田園ホール）落成
●昭和 44 年		●平成 3 年	
5 月 19 日	郡内 2 町 1 村環境施設組合設立ごみ処理場火入れ式	1 月 14 日	町デイサービスセンター完成
8 月 5 日	徳丹城跡国指定史跡となる	7 月 17 日	矢巾地区農業構造改善センター完成
10 月 25 日	国民保養センター完成	11 月 7 日	北上川架橋長徳橋完成
●昭和 45 年		●平成 4 年	
9 月 7 日	煙山ダムで国体夏期大会カヌー競技開催	3 月 31 日	不動児童館完成
●昭和 46 年		10 月 27 日	奥羽南部区域農業用道路（南昌トンネル）開通
1 月	矢巾町総合開発計画策定	12 月 25 日	矢幅駅東地区土地区画整理事業起工式
3 月 15 日	矢巾町都南村都市計画事業等組合設立	●平成 5 年	
5 月 24 日	岩手流通センター起工式	3 月	下田工業団地完成
8 月 1 日	広域消防体制スタート	4 月 1 日	岩手県林業技術センター落成
11 月 20 日	町商工会館落成	5 月 18 日	盛岡・紫波地区環境施設組合リサイクルコンポストセンター完成
●昭和 48 年		12 月 24 日	町シルバー人材センター設立
4 月 11 日	盛岡消防署矢巾分署落成	●平成 6 年	
●昭和 49 年		6 月 9 日	温泉入浴施設「パストラルバーデン」オープン
6 月 4 日	東北新幹線工事着工	●平成 7 年	
●昭和 51 年		6 月 30 日	町保健福祉交流センター（さわやかハウス）落成
5 月 6 日	クレー射撃場落成	7 月 22 日	アメリカ・フリモント町と友好都市締結
5 月 13 日	紫波郡環境施設組合不燃処理施設落成		

8月15日	非核平和の町宣言を制定	●平成19年	4月1日	徳田保育園を民間法人に譲渡
11月17日	矢巾町福祉のまち宣言を制定	4月1日	4月1日	学校法人岩手医科大学矢巾キャンパス完成、薬学部開設
●平成8年		8月27日	8月27日	岩手やはば21赤べこ野球軍団第78回都市対抗野球全国大会出場
4月1日	町立矢巾北中学校開校	9月17日	9月17日	平成19年秋雨前線による大雨被害 観測史上1位の降水量を記録
●平成9年		10月3日	10月3日	水本圭治選手、国民体育大会カヌー競技で2冠達成
1月26日	新矢巾町商工会館落成	11月23日	11月23日	矢巾の地酒 徳丹城「別将」誕生
4月1日	盛岡・紫波地区環境施設組合一般廃棄物最終処分場供用開始	●平成20年	3月15日	新矢幅駅、東西自由通路完成開業（矢幅駅開業110周年）
4月15日	県立産業技術短期大学校開校	3月19日	3月19日	矢巾町消防団、528日無火災継続中で県表彰を受賞
●平成10年		11月8日	11月8日	矢巾中学校創立50周年記念式典開催
8月26日	町防災コミュニティセンター落成	12月31日	12月31日	不来方高校サッカー部全国選手権大会初出場
●平成11年		●平成21年	3月21日	総合型地域スポーツクラブ「楽々クラブ矢巾」設立
3月1日	矢巾町、岩手紫波町、都南農協合併により岩手中央農業協同組合発足	●平成22年	3月16日	横澤高徳選手バンクーバー冬季パラリンピック、アルペン男子大回転シッティング出場
3月25日	西部工業団地完成	8月9日	8月9日	矢巾町コミュニティ条例制定30周年記念式典開催
9月1日	町ホームページ開設	12月26日	12月26日	田園ホール開館20周年記念第九コンサート開催
10月7日	人口25,000人達成	●平成23年	3月8日	岩手医大総合移転整備計画第2次事業新設工事落成
11月15日	町道中央1号線完成	3月11日	3月11日	東日本大震災発生 矢巾町では震度6弱を観測
●平成12年		●平成24年	1月13日	町立矢巾中学校新校舎利用開始
5月30日	水道料金及び下水道使用料コンビニエンスストア収納事務委託調印	3月	3月	岩手医科大学総合移転事業にかかるドクターヘリ基地ヘリポート完成、5月から本格的運用開始
6月1日	町内循環バス「さわやか号」本格運行開始	●平成25年	3月30日	不来方高校男子ハンドボール部が全国高校ハンドボール選抜大会で優勝
8月1日	県営土地改良整備事業東部徳田地区完工	8月9日	8月9日	大雨・洪水被害により矢幅駅周辺で床上・床下浸水など大きな被害
●平成13年		●平成26年	12月1日	平成25年の大雨・洪水被害により休業していた国民保養センターが営業再開
7月25日	中国寧波市に親善大使として11人が訪問	●平成27年	1月5日	町立煙山保育園新園舎利用開始
7月25日	重度心身障害児施設「みちのく療育園」が開園	8月24日	8月24日	矢巾中学校男子ハンドボール部全国大会準優勝
9月20日	携帯電話を活用した緊急防災メールシステム始動	11月13日	11月13日	矢巾町合併60周年記念式典開催
12月7日	ISO14001認証取得	●平成28年	2月21日	パラリンピアン横澤高徳選手「希望郷いわて国体」でエキシビジョン滑走
●平成14年		4月1日	4月1日	矢巾町活動交流センター「やはばーく」開所式
4月1日	児童保育園施設「やはば保育園」開園	5月28日	5月28日	矢巾スマートIC工事着工式
4月3日	高齢者活動センター「やまゆりハウス」がオープン	10月2日	10月2日	希望郷いわて国体デモンストレーション競技開催（ラジオ体操、スポーツチャンバラ）
4月10日	老人保健施設「シェーンハイムやはば」がオープン	10月10日	10月10日	中前いつき選手、いわて国体カヌー競技で2冠達成
7月20日	「ふるさと矢巾会」創立15周年記念総会が矢巾町で開催される	10月22日	10月22日	工藤綾乃選手、希望郷いわて大会陸上スラロームの部で優勝
8月1日	住民基本台帳ネットワークシステムがスタート	11月6日	11月6日	矢巾町音楽のまち宣言セレモニー
9月1日	図書室の蔵書検索システムが稼働	●平成29年	3月19日	小原重雄さんに名誉町民の称号を授与
●平成15年		3月21日	3月21日	第89回春のセンバツ甲子園開会式で県立不来方高校音楽部竹内菜緒さん国歌独唱
7月10日	特別養護老人ホーム志和荘が落成	3月24日	3月24日	同大会で県立不来方高校野球部21世紀枠出場
10月16日	広宮沢第二土地区画整理事業の用地造成工事起工式			
12月22日	矢巾町健康長寿のまち宣言を制定			
●平成16年				
3月23日	盛岡地域任意合併協議会が発足			
4月8日	町立矢巾東小学校開校、矢巾東児童館開館			
4月12日	学校給食共同調理場開所			
6月9日	パストラルバーデン10周年記念			
7月14日	不動浄化センター通水式			
11月11日	盛岡市・玉山村との合併法定協議会への不参加を決定			
●平成17年				
4月1日	北川保育園を民間法人に譲渡			
4月1日	歴史民俗資料館ホームページ開設			
6月	町内小中学校ホームページ開設			
11月9日	矢巾町合併50周年記念式典			
●平成18年				
2月2日	矢幅駅西地区土地区画整理事業起工式			
4月1日	不動保育園を民間法人に譲渡			
4月1日	矢巾町地域包括支援センター開設			
4月30日	岩手やはば21赤べこ野球軍団誕生			
7月	徳丹城跡から史上初の「木製かぶと」出土			
11月1日	水本圭治さんに町民栄誉賞第1号を贈呈、全国高校総合体育大会及び国民体育大会カヌー競技で5冠達成			

●平成 30 年	3 月 1 日	やはラヂ！放送開始	●令和 5 年	12 月 27 日	旭田好里選手 JFA 第 27 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会 優勝
	3 月 14 日	高橋幸平選手平昌パラリンピックアルペンスキー出場		2 月 1 日	盛岡広域環境組合設置
●平成 31 年	3 月 24 日	矢巾スマートインターチェンジ開通式		3 月 18 日	矢幅駅東口に地域情報発信ステーション オープン
	1 月 19 日	スポーツのまちやはば宣言		3 月 25 日	矢巾北中学校特設合唱部、第 16 回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞
●令和元年	5 月 1 日	天皇の譲位に伴い「平成」から「令和」に改元		3 月 30 日	矢巾中学校男子ハンドボール部全国中学校選手権準優勝
	8 月 5 日	徳丹城が国指定史跡となり 50 年を迎えた		4 月 1 日	認知症とともに生きる町づくり条例を制定
	8 月 25 日	水本圭治選手、2020 年東京オリンピックカヌースプリントカヤックフォア 500m 出場決定		4 月 29 日	南部盛岡チャグチャグ馬コパレードが町内で初めて実施（徳丹城春まつりと併せて）
	9 月 21 日	岩手医科大学新附属病院開院		5 月 7 日	ワールドラン（Wing for Life World Run）矢巾会場初開催
	10 月 13 日	煙山小学校、第 19 回東日本学校吹奏楽大会で初出場金賞受賞		5 月 28 日	宮沢賢治をモチーフとした南昌山の新展望台を山開きでお披露目
	10 月 27 日	矢巾北中学校特設合唱部、第 72 回全日本合唱コンクール全国大会出場銅賞受賞		7 月 22 日	コロナ禍で中止が続いていた町夏まつりが 4 年ぶり通常開催
	12 月 15 日	矢巾北中学校特設駅伝部、全国中学校体育大会第 27 回全国中学校駅伝大会出場		11 月 28 日	東北最大の物流拠点「プロロジスパーク盛岡」が広宮沢に完成
				12 月 1 日	町住民総合ポータルアプリ「やはナビ！」の運用開始
●令和 2 年	2 月 7 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」として本町の登録が決定。相手国はオーストリア共和国。	●令和 6 年	2 月 5 日	町ホームページをリニューアル
	4 月 15 日	町健康増進施設「ウェルベース矢巾」がオープン		3 月 23 日	平成 23 年度より架替工事が進められていた徳田橋が開通
	8 月 9 日	矢巾町安全・安心の日制定			
	8 月 22 日	矢巾スマートインターチェンジ利用台数 200 万台達成			
	10 月 10 日	町介護予防・認知症施策推進拠点施設「えんじょいセンター」オープン			
	10 月 18 日	第 1 回矢巾町音楽祭開催			
●令和 3 年	1 月 8 日	プロバスケットボールチーム岩手ビッグブルズの練習拠点として「矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ（旧アイワ体育館）」オープン			
	3 月 21 日	矢巾北中学校特設合唱部、第 14 回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞			
	3 月 25 日	村松玲子さん（不来方高校音楽部顧問）に町民栄誉賞を贈呈、多くの生徒とともに全国の舞台で優秀な成績を収め町の芸術文化振興に貢献			
	4 月 1 日	岩手朝日テレビのデータ放送を活用した自治体情報サービスの配信開始			
	5 月 11 日	認知症の方や家族の支援に取り組む「チームオレンジ矢巾」結成			
	6 月 18 日	東京 2020 オリンピック聖火リレー「矢巾区間」走行			
	7 月 9 日	資源物回収施設「リサイクルモア矢巾店」オープン			
	8 月 6 日	水本圭治選手、東京 2020 オリンピックカヌースプリント競技出場			
	10 月 31 日	矢巾北中学校特設合唱部、第 74 回全日本合唱コンクール全国大会出場金賞受賞			
	11 月 21 日	町文化会館（田園ホール）にて「NHK のど自慢」を開催			
令和 4 年	3 月 13 日	高橋幸平選手、北京 2022 冬季パラリンピックアルペンスキー競技出場			
	10 月 9 日	祝咲喜公園に町マレットゴルフ場 オープン			
	10 月 30 日	認知症の人にやさしいまちづくり やはば 宣言			
	11 月 5 日	矢巾北中学校特設合唱部、第 75 回全日本合唱コンクール全国大会出場 同声の部 銀賞受賞			

みんなで築く 躍動感あふれ 幸せな未来へ進化するまち

行政

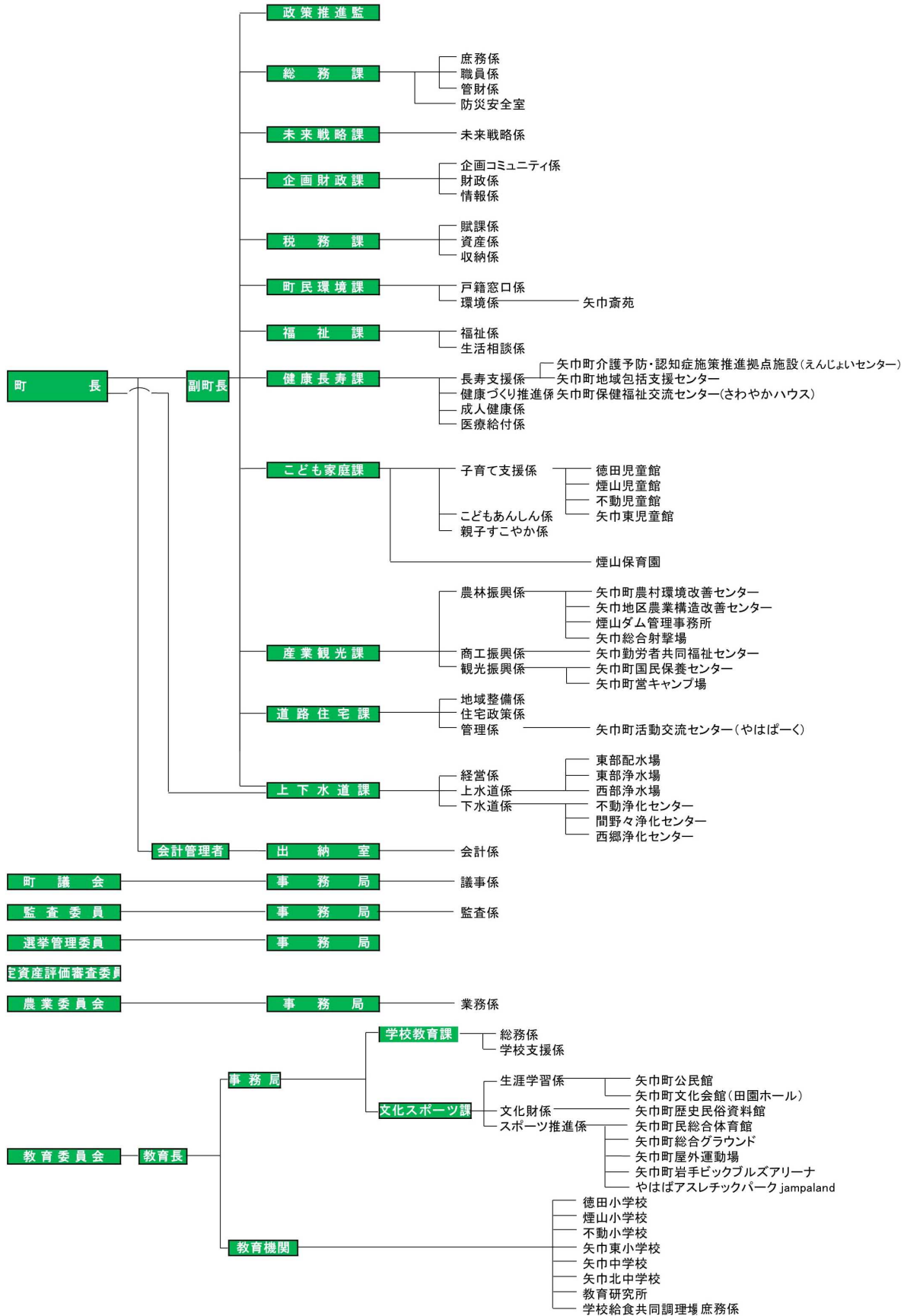
町長 高橋 昌造



副町長 岩渕 和弘



教育長 菊池広親



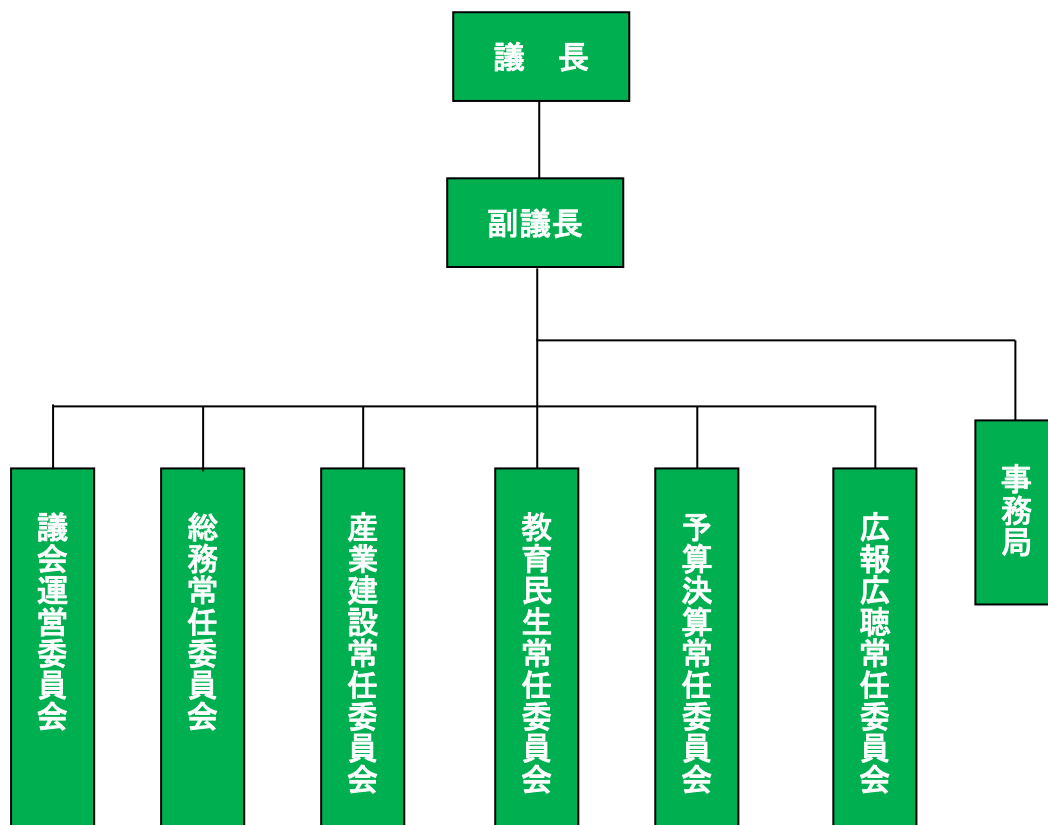
町民との対話を重視し、その声を反映させる

議会

議長
廣田
清実



副議長
谷上
知子



町民憲章 (昭和 51 年 10 月 25 日制定)

- わたくしたちの町
岩手の山なみをながめ南昌のふもと
北上の流れに憩う
美しい町
わたくしたちは今
この町の 光と風と
父祖の足跡を 受けつぎつと
和といったわりと 希望の町をめざし
この憲章を掲げます
この憲章のもと
老いも若きも 手をたずさえ
日を月を年を重ねて
たくましく 生きぬくことを
誓います
- 一 みどり豊かな自然を愛し
清らかな町づくりに努めます
一 すすんで教養を身につけ
郷土の芸術文化をたかめます
一 体力をつよめ話し合いを大切にする
明るい家庭をつくります
一 公共心を育て
思いやりときまりのある生活をします
一 働くことに喜びをもち
希望にみちた町の開発にはげみます

町章 (昭和 32 年 9 月 15 日制定)



昭和 32 年 9 月に制定されたもので、当時三ヶ村合併の意味をもたせ「矢」と「巾」とを同時に意味して「矢巾」とし、安定と遠心的な広がりを図案化したもので、本町の平和と躍進を象徴している。

町のシンボル (昭和 51 年 10 月 25 日制定)



花『ゆり』
南昌の里に、ひっそりと咲き、美しく、また可憐な花を開き柔和で、純潔な町民の心を表している。



鳥『かつこう』
さわやかな鳴き声を矢巾の山々にこだまさせ、明るい未来を知らせ、町民に明日への希望をもたせてくれる。



木『まつ』
年中緑を絶やさず、葉は強剛で奥羽山脈から吹きおろす風雪にも耐え四方に伸びる根と枝は、矢巾の躍進を示すがごとく雄大である。

矢巾町民歌 (昭和 32 年 9 月 15 日制定)

矢巾町民歌

川村 陽吉 作詞

藤沢 康太郎 補作

鷹嘴 洋一 作曲

一、見はるかす 沃野ひらけて

南昌の 山に雲湧く

美まし里 息吹きさやかに

あたらしき 理想は高く

力あわせて われら辿らん

二、岩手富士 はるかに仰ぎ

うたごえの 相和すところ

人睦み ともに励みて

うちたつる 徳と業とを

望みあかるく われら進まん

三、鹿妻堰 滔るる水に

ゆたかなる 恵みをうけて

黄金なす 穂波のそよぎ

なりわいの このよろこびを

誠つくして われら拓かん

矢巾町のキャラクター

じゃじゃとくん



わたまろくん



矢巾町 町勢要覧

Yahaba Town Guide Book

◆発行 岩手県矢巾町

◆制作 企画財政課

平成 28 年 7 月発行

(令和 6 年 6 月改訂)

〒028-3692

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第 1 3 地割 1 2 3 番地

TEL 019-697-2111 (代表)

FAX 019-697-3700

矢巾町ホームページ <https://www.town.yahaba.iwate.jp/>